

飯田市農業振興ビジョンについて

次のとおり策定作業を進める。

1 策定の目的

- ・本市の農業は、農家の高齢化や後継者不足、野生鳥獣による被害等、また、それらに伴う農地の遊休化・荒廃化の進展など、様々な厳しい課題がある。
- ・国においては、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を策定し、農業を足腰の強い産業としていくための政策（産業政策）と、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための政策（地域政策）の2つの柱に沿って、課題の解決に向け取り組むこととするなど、農業政策の大きな転換を進めている。
- ・農業委員会法や農協法の改正など、日本農業を支えてきた組織体制の改革にも取り組んでいる。
- ・本市を取り巻く環境は、2027年の開業を目指して工事着手されたリニア中央新幹線や近い将来の全通が期待される三遠南信自動車道など、高速交通網の整備により、社会環境が大きく変化していくことが予測される。

○これらの状況を踏まえ、本市の農業振興を進める意義を改めて確認しつつ、農業分野の諸々の課題解決と元気な地域農業の構築による地域の活性化を図るため、今後取り組んでいく農業政策の指針となる「飯田市農業振興ビジョン」を策定し、農業振興を進めていくことが求められている。

2 これまでの策定経過（意見聴取等）

- ・農林業センサス調査結果等による現状分析
- ・農業委員会 農地部会 6/30、振興部会 7/12、総会 11/10
- ・農業振興地域整備計画推進審議会 7/1、12/6
- ・産業振興審議会 10/18、11/18、11/24（地域活性化プログラム 2017 の協議の中での方向性確認を含む。）

3 農業振興ビジョン（素案）（概要）

内容は、別途本冊のとおり

(1) 農業振興を進める意義

農業振興を進めていく目的、意義を次の3点とする。

ア 農業所得の向上

市内の総世帯数に占める農家世帯の割合は約12%であり、農家の所得向上は地域経済への波及効果が期待され、農業振興を進めていくことが市民の生活向上にも大きく寄与する。

イ 地域営農による魅力ある地域社会の保全

本市は、農家だけでなく、サラリーマンを含め男性も女性も、若者から高齢者までのすべての地域住民が協力し地域農業の振興を推進する『結いの心』や『ムトスの精神』に基づいた地域づくりの取組が進められてきた風土があり、リニア時代に向けても飯田

が持つ魅力を守っていくため、農業を核にして地域が一体となった魅力ある地域社会の保全を進める。

ウ 市民への豊かさの供給

農業には、地域で永く培われてきた豊かな食文化を守り継承していくとともに、安全安心な農産物を供給する役割がある。さらに、快適な住環境やレクリエーション空間を創造し提供する役割がある。

(2) キャッチフレーズ

～ 魅力ある飯田市農業の実現と豊かな地域づくり ～

(3) 計画の期間

「いいだ未来デザイン2028」に合わせ、平成29年度（2017年度）を初年度とし、平成40年度（2028年度）までの12年間とする。

(4) 農業ビジョンの方向性（柱）

- ア 魅力ある農業経営を実現する農家の育成・支援
- イ 競争力のある産地づくり
- ハ 豊かさを供給できる魅力ある地域づくり

4 策定に向けた進め方

生産団体等との協議や意見を聴取しながら、本年夏を目途に策定していく。